

令和3年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

ジャム製造を柱に地域資源を活用した様々な取組により地域を活性化

○氏名又は名称 株式会社 瀬戸内ジャムズガーデン（代表 松嶋 匡史）

○所在地 山口県大島郡周防大島町

○出品財 経営（イチゴ、イチジク、柑橘）

○受賞理由

・地域の概要

周防大島町は、山口県の最東端部に位置し、年間平均気温は15.5度と比較的温暖な気候で、雨が少なく、冬でも晴天の日が多く降雪・積雪もほとんどない地域である。「みかんの島」とも呼ばれ、農業生産のほとんどは柑橘類が占めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成15年に県外でジャム製造業を創業、翌16年に周防大島で夏季限定の直営店をオープン。平成19年にIターンによる通年営業を開始するとともに、島内で確保できない果実を自ら生産する農業部門を設立し、平成23年に株式会社化。自社生産作物と島内外58軒の農家から購入した果実類を使用したジャムの製造、販売を実施。

・受賞者の特色

（1）地域の個性を活かしたジャムづくり

年間180種類もの地域性豊かなジャムを生産するとともに、加工場に直売施設とカフェを併設し、自社のジャムやスイーツを提供している。契約農家には酸味などジャムに合った柑橘類の生産を行ってもらうなど、生産段階からこだわったジャムづくりを展開し、同時に契約農家からは100円/kg以上で買い取り（加工用みかんの相場は10円/kg）、農家の所得向上に貢献している。また、地域で栽培していない、ないしは生産量が少ない作物は、耕作放棄地を借りて自社農園で栽培している。

（2）里山オープンイノベーションで新しい価値を創造し持続可能な地域づくり

瀬戸内ジャムズガーデンでは「里山オープンイノベーション」を掲げ、移住者や都市部の関係人口、観光事業者、教育機関など地域内外の多様な組織等と連携し、移住希望者と地元企業等とのマッチングや移住希望者向けのツアーの実施、高校、大学での講演やインターンシップなど、多彩な活動に取り組んでいる。周防大島の資源を掘り起こし、新たな商品を生み出して島に人を呼び込み、域内で経済を循環させる持続可能な地域づくりを進めている。

・普及性と今後の発展方向

島内の多くの農家を巻き込み多種多様なジャムづくりを実現している。また、様々な交流企画等で消費者とのつながりを構築し、今では直営店に年間7万人以上が訪れる島の観光スポットとなっている。今後も地域資源を活用し、「農」を核とした関係人口づくりが地域経済のさらなる好循環に繋がるよう取組を進めていく。